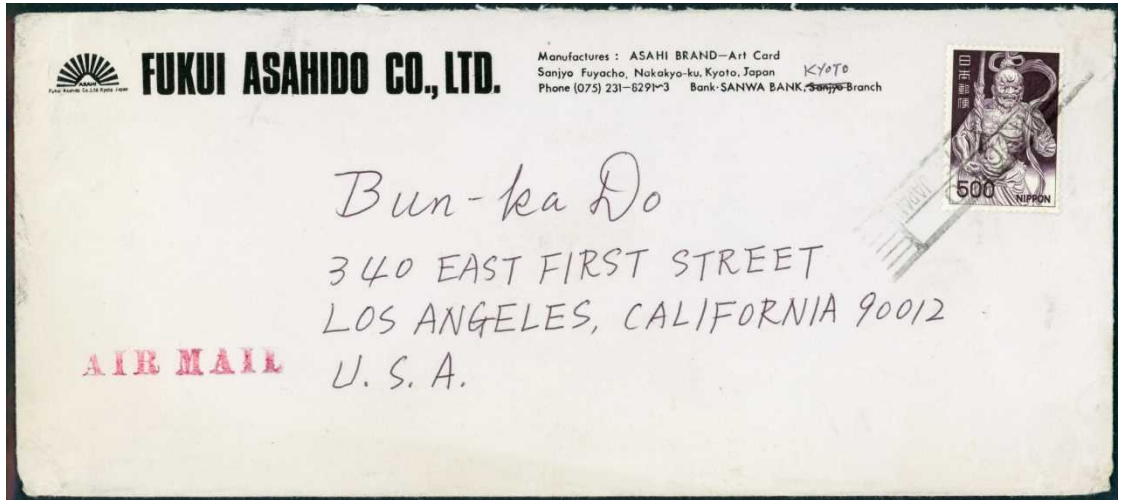


500 円力士像 1 枚貼りの航空便

永吉 秀夫



第2地帯あて7倍重量航空便書状(料金500円) KYOTO 1975.10.31(欧文ローラー印) → 米国

1969年2月発行の高額500円普通切手を、1枚貼りで使用した航空便です。消印が読みにくいので拡大図を右に載せました(それでも明確には読み取れませんが)。差出人のFUKUI ASAHIDO(福井朝日堂)は京都の伝統紙製品メーカーです。

この500円切手、このような目的で発行された切手とは言えませんが、下の料金表(1972年7月1日改訂)からわかるように、書状基本料金80円+重量増料金70円×6で、めでたく料金がちょうど500円となりました。



会報305号では500円多数貼カバーを紹介しましたが、今回のような1枚貼りもうれしくなります。切手展作品でどちらを使うかは、人それぞれの考え方があるでしょうが、どちらも横幅の長い封筒で、リーフに収める際に苦労しますね。

	書状		葉書	印刷物	
	10gまで	超10gごと		20gまで	超20gごと
第1地帯	60	50	35	40	30
第2地帯	80	70	45	50	40
第3地帯	100	90	55	60	50